

労働災害を減らすため SAFE コンソーシアムへ加盟しましょう！

現在、労働災害が増加傾向にあり、なかでも日常生活でも発生しうる転倒や腰痛など「行動災害」と呼ばれる災害が特に増加しています。

このような状況において、厚生労働省では、「SAFE コンソーシアム」を立ち上げました。

「SAFE コンソーシアム」では、ステークホルダー（企業、団体、研究機関、行政機関等）が連携し、労働災害を自分ごととしてとらえ、解決策を考えていく機運を醸成していくことなどを目指しています。企業、団体の皆様におかれましては、「SAFE コンソーシアム」への加盟につきまして、ぜひとも前向きにご検討いただきますようお願いいたします。

また、「アワード」（裏面参照）につきましても、皆様の積極的なご応募をお待ちしております。



(👉 詳細はこちら
をご覧ください)

佐賀労働局

佐賀労働基準監督署 唐津労働基準監督署

武雄労働基準監督署 伊万里労働基準監督署

SAFEコンソーシアム（全国）

Safer Action For Employees (SAFE) を旗印に

「従業員の幸せのための安全アクション(SAFE)コンソーシアム」として、ステークホルダーが一丸となり、働く人と、全ての人の幸せのために、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現のため取り組む



● 構成



● 取組

- ① 労働災害問題の協議・周知（シンポジウム）
- ② 取組事例の共有、事業連携等による新たな取組の創出
- ③ 優良取組事例の表彰、コンソーシアム内外への発信（SAFEアワード）
- ④ 参画メンバー及びコンソーシアムの認知向上（ロゴマーク、バナー等）

● 目的

- 労働災害を自分ごととしてとらえ、解決策を考えていく**機運の醸成**
- 顧客・利用者だけでなく、従業員の安全第一のための取組を、**産業界を巡るステークホルダー全員で推進**

● 企業における取組

（例）腰痛予防体感教育



（例）転倒防止のための靴のすり減りの見える化



● 事業連携等による新たな取組の創出

（例）フィットネス企業の監修による防災防止にも効果のある企業オリジナル体操の開発

（例）大学と企業による社員食堂健康メニューの共同開発

アワード（表彰）について

【募集期間】 令和4年11月17日～12月23日

【結果発表】 令和5年3月頃を予定

【アワードの趣旨・目的】

本アワードは、職場において実施されている労働災害防止や安全・健康の増進のための取組事例を募集し、表彰することで、優良な取組を進める職場の「見える化」を図り、企業・労働者による更なる取組を促進することを目的としています。

【募集概要】

令和4年度の「SAFEコンソーシアムアワード」では、「従業員の幸せのための取組」について、自社の事例をPRしていただきつつ、また他社の事例から気づきや学びを得ていただくことを目指し、次の部門・賞により募集・表彰を行います。

【表彰部門】

- ウェルビーイング（安全衛生）部門※
※転倒災害防止及び腰痛予防の取組以外
- 転倒災害防止部門
- 腰痛予防部門
- 企業等間連携部門

（詳しくはこちらをご覧ください）

